

第5学年 道徳科学習指導案

令和2年7月3日（金）

- 1 主題名 思いやりの心 内容項目〔B：親切、思いやり〕
- 2 ねらい 相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて考えることを通して、思いやりの心を深め、温かく親切に接しようとする判断力を育てる。
教材名 「落とし物」（出典：学研「新・みんなの道徳」5年）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題の内容項目「B 親切、思いやり」には、「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること」とある。本主題は、よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢として、相手に対する思いやりの心を持ち親切にすることに関するものである。一人の人間として生きていく上では、誰に対しても相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対して良かれと思う気持ちを向け、親切にすることが大切である。そのために、様々な人と触れ合い、助け合って何かをするような機会を増やしたり、それらの体験を生かし、思いやりの心をもつことの大切さについて深く考えたりできるように工夫する必要がある。この授業では、相手の立場に立って児童が主人公の気持ちの変化や状況について自分と向き合いながら考えることで、自分事として相手のためになることを児童一人ひとりが考えること、それを学級で共有し、多面的・多角的に考えることを通して、相手のためを思う行為や行動をすべての人に広げるきっかけとなる学習とする。なお、このねらいは、中学校では「思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること」へと発展していく。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

5年生は、自他を客観的にとらえることができるようになるため、相手の置かれている状況を自分自身のことに置き換えて想像できるようになる学年である。学校の中でも、高学年の仲間入りをして、委員会活動や縦割り活動など全校に関わる仕事を担うようになったり、他学年の児童のお世話をしたりする立場となる。そのため、これまで以上に多様な人と接する機会が増えると考えられる。だからこそ、今回の授業では思いやりの心をもつことの大切さを理解させた上で、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかを考えた相手の立場に立った具体的な行動ができるような判断力を育てたい。

本学級の児童は、何事にも前向きに取り組み、多様な意見を出して話し合ったり、男女関係なく学級内で関わり合いながら話し合ったりすることができる。友達思いの児童が多く、相手を思いやることのできる児童も多い。その一方、相手への思いやりの気持ちはもっているものの、そ

れを目に見える形の親切にすることができない児童が多い。本時の授業では、親切を行動にできている人とそうでない人の意見を対比させ、様々な「親切、思いやりの心」について自分事として考え、誰に対しても思いやりの心をもって親切に接することができるようにしたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、困っている人と引越す友達という立場や状況の違う両者に対してどうすることが本当の親切なのかを考えることを通して、ねらいに迫るものである。

明日香と未来が、友達の家に行く途中で鍵をなくして困っている親子に出会い、一緒に探すが見つからない。鍵は見つからず、友達との約束の時間が迫ってくると、一緒に探すのをやめようかどうしようか考える二人。迷いながらも、再び探すことを選択する。「二人はなぜ再び探そうと思ったのか」を考えさせることで、行為に裏付けされた道徳的価値が現れる。また、主人公が取った一連の行為を評価させることで、道徳的価値の理解を基によりよい行為を判断させることもできる教材である。

今回の授業では、アンケートを導入時に取り入れることでねらいを身近にすること、友達の色々な考えを聞き、相手を思いやる時に何を大切に判断すればよいかを文章化して考える時間を設けることで自分と向き合う時間を意図的に作る授業を行う。そのためにも、今回の授業ではわかりやすく明確な発問を心がけ、自分と向き合う時間を作り、主体的、対話的で深い学びを実現したい。

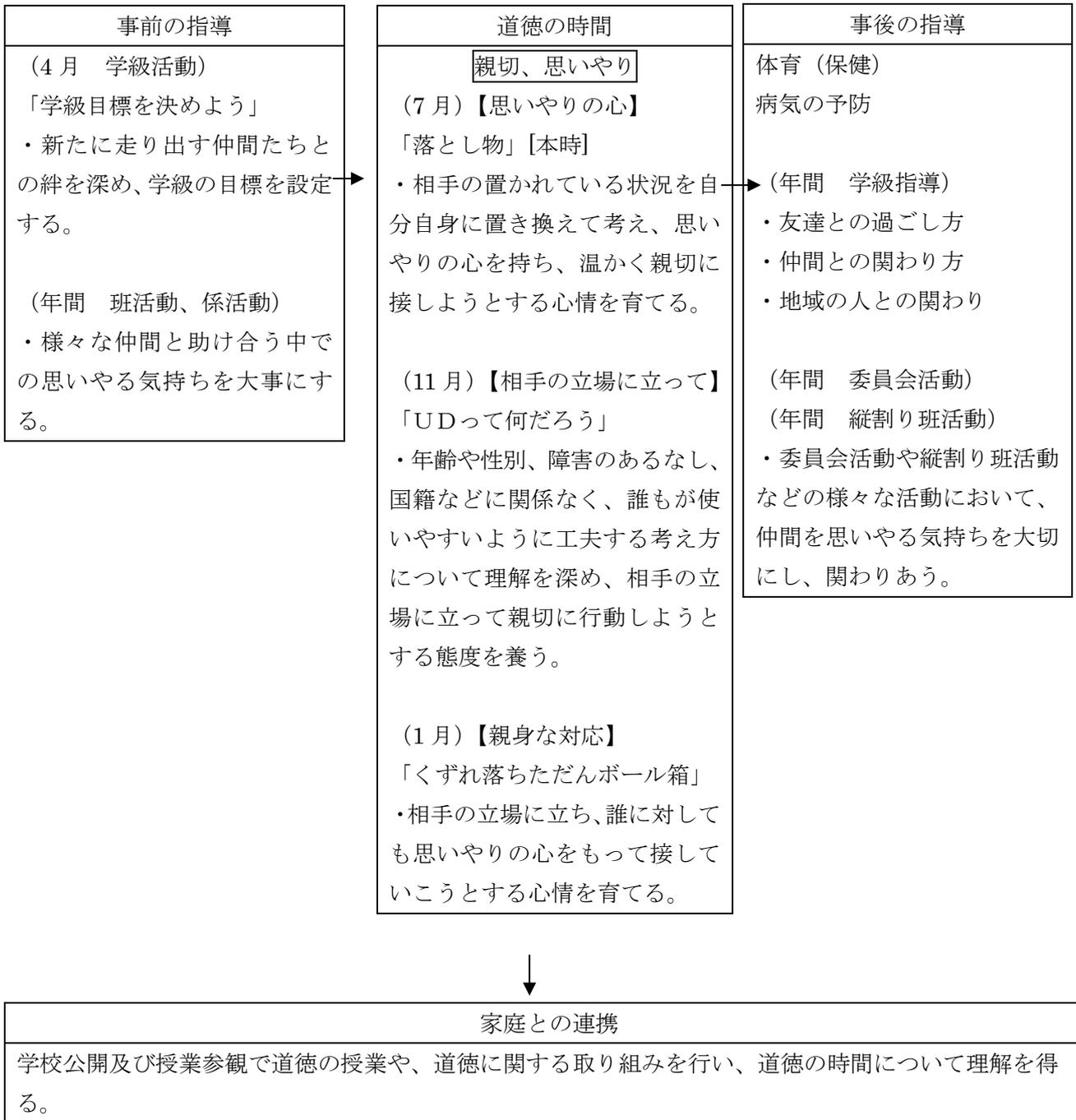
4 学習指導過程

段階	学習活動 ・ 主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の視点	時間
導入	<p>1 主題についての問題意識を高めるため、アンケートを使い導入をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落とし物をしたことがありますか。 ・その時、どんな気持ちでしたか。 	<p style="text-align: center;">ある ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしようか心配 ・とても困った ・予定があるのに急がないといけない。どうしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切、思いやりについてのアンケート結果を基に話し合い、本時への関心を高める。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チェック③</p>	5
学習の課題 「本当の親切とはどんなことだろうか。」				
展開	<p>2 「落とし物」を読んで、考えたことを話し合う。</p> <p>① 一度は探すのをあきらめたのに、二人はなぜまた探し始めたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・このまま行ってしまったら後悔すると考えたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分との関わりを深めながら考えさせるために、行為のもととなる 	30

	<p>② 未来さんたちがしたことをどう考えますか。</p> <p>3 課題に対しての自分なりの解決を見出す。</p> <p>① 課題「本当の親切とはどんなことだろうか。」について考える。</p>	<p>・自分だったら誰かに助けてもらいたいと思うくらい不安だから、一緒に探そうと思った。</p> <p>そこまでしなくてよい</p> <p>・間に合ったからよかったが、そこまでする必要はあるのか。</p> <p>・出発に間に合わなくてはいけなかったので仕方ない。</p> <p>よかった</p> <p>・感謝されたし、赤ちゃんも無事だったからよかった。</p> <p>・あの時、諦めなくてよかった。諦めていたら後悔していたはず。</p> <p>・相手の立場に立って自分ができることをしてあげること。</p> <p>・困っている人を助けること。</p> <p>・困っている状況を考え、手助けすること。</p>	<p>理由をしっかりと知らせる。</p> <p>・主人公の行った判断に共感させる。</p> <p>・児童一人ひとりが自分の考えを言えるように手助けをする。</p> <p>チェック⑤</p> <p>☆主人公たちの行動に対して、様々な観点から考えるを通して、相手の立場に立って行う親切や思いやりのよさについて考えている。</p> <p>・どんな意見が出ても前向きにとらえ、共感する。</p> <p>☆主人公たちの行動に対して、「自分だったら」と自分との関わりの中で、親切や思いやりについての考えを深めている。</p>	
<p>終末</p>	<p>4 学習のまとめ</p> <p>・今までの自分を振り返って、あなたはこれからこのような</p>		<p>・自分の考えを上手に表現している人を指名し、発表させる。</p>	<p>10</p>

<p>場面に出会ったらどうしますか。その理由も一緒に用紙に記入しましょう。</p>		<p>チェック⑨</p>	
---	--	--------------	--

5 他の教育活動との連携



6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

主人公たちの行動について様々な観点から考えることを通して、相手の立場に立って行う親切や思いやりのよさについて考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

主人公たちの行動に対して、「自分だったら」と自分との関わりの中で、親切や思いやりについての考えを深めている。

7 板書計画

